

*会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。*カタログに記載された内容および製品の仕様は改良のため、予告なしに変更することがあります。
*本カタログの記載内容は2008年7月現在のものです。©2008 OBIC BUSINESS CONSULTANTS CO.,LTD. All rights reserved.

法人統合を機に人事情報を 奉行V ERPで一元管理 業務の効率化と 人事戦略の推進に寄与

奉行V ERP 導入モジュール

- ▶ 人事奉行V ERP (Standard Edition)
- ▶ 退職金管理オプション for 人事奉行V ERP
- ▶ BACKUP奉行V

法人統合を機に人事情報を奉行V ERPで一元管理 業務の効率化と人事戦略の推進に寄与

「都ホテルズ&リゾーツ」の運営事業会社である近鉄ホテルシステムズは、独立した法人格だった各ホテルの一法人化に伴って人事情報管理の一元化を実施した。そのプラットフォームとして採用したのが「人事奉行V ERP」である。それにより、本部および各ホテルの労務担当者の業務の効率化や正確な退職金ポイント管理を可能にするとともに、人事戦略実現のための基盤を構築した。

導入背景

- ・独立法人だった各ホテルで個別のシステムまたは紙で人事情報を管理
- ・一法人化に伴い、人事情報の一元管理が必要
- ・退職金制度の確定給付型年金への移行に伴い、退職金ポイント管理の効率性・正確性の要求が向上

ソリューション

- ・人事奉行V ERPによる人事情報の一元管理
- ・ポイント管理に対応した退職金管理オプション

日本を代表する老舗ホテル 「都ホテル」を統括運営

近鉄ホテルシステムズは、近畿日本鉄道のホテル事業の中核会社として「都ホテルズ&リゾーツ」を運営する事業会社である。近鉄グループのホテル事業は、スターウッドとの業務提携による「シェラトン都ホテル大阪」「シェラトン都ホテル東京」「ウェスティン都ホテル京都」をはじめとし、全国で13のホテルを運営している。ラグジュアリーホテルから一般的なシティホテル、さらには都市部での宿泊特化型や観光地のリゾート型など、さまざまな形態のホテルを擁しているのが大きな特徴でもある。2008年4月には阪神尼崎駅に隣接する「ホテルニューアルカイク」を傘下に納めた。阪神尼崎駅は2009年春に近鉄と阪神の相互乗り入れが予定されており、ホテル事業においても重要な拠点となる。また2008年10月には、客室がすべて100㎡以上を持つオールスイートのリゾートホテル「志摩観光ホテル ベイスイート」をオープンする予定だ。

全ホテルの一法人化を機に 人事情報管理を一元化

都ホテルズ&リゾーツは2006年4月に、これまで独立した法人格だった各ホテルを近鉄ホ

テルシステムズの一法人に統合した。それに伴い、各法人で管理していた人事情報を本社で一元管理する必要性に迫られていた。

「従来、各ホテルの人事情報管理は、システム化されているホテルもあれば、紙で管理しているホテルもあるなど、ばらばらだったのが実態です。人事異動や労働基準監督署の手続き、届け出に際しても、各ホテルの総務担当に問い合わせる情報を収集しなければならず、非常に煩雑な作業に追われていました」。総務部マネージャーの中村吉宏氏は、当時の課題をこう述べる。

また、2008年1月に退職金制度を確定給付型年金に移行したことに伴い、退職金管理機能を実装したいという要望もあった。以前からポイント制をベースにした退職金制度を採用していたが、そのポイント管理は各法人ごとに紙ベースやExcel等で行っていた。また、入社時期や昇格時期の違いなどで各社員のポイント管理は非常に複雑かつ煩雑だった。確定給付型年金へ移行したことで、ポイント管理作業の効率化と正確性がより一層求められるようになり、システム化が必要という課題もあった。

こうした労務の効率化と、人材の適正配置や人材教育など、今後の人事戦略を推進していく上で、その基盤として人事情報の一元管



Profile

都ホテルズ&リゾーツ

商 号：株式会社近鉄ホテルシステムズ
所 在 地：大阪市天王寺区上本町6-1-55
設 立：1998年7月
資 本 金：130億円
従業員数：3,600名(正社員・契約社員1,800名)
事業内容：都ホテルズ&リゾーツをはじめとする全国19のホテルチェーンの運営
U R L：http://www.miyakohotels.ne.jp/



株式会社近鉄ホテルシステムズ
総務部
マネージャー
中村 吉宏 氏

「人事奉行V ERPは、人事戦略の実現に貢献する基盤だと確信しています」

理が求められたのである。

人事戦略を進めるための核として 採用された人事奉行V ERP

「システム検討の結果、人事奉行V ERPを選定した理由を一言でいえば、人事戦略を実行していく上で、要件の実現性が最も高かったからです。その1つが、ポイント制に対応した退職金管理オプションがあった点です」(中村氏)。他社の提案では開発による作り込みによって対応するもので、ポイント制度の変更や人事管理システム自体のバージョンアップに際して柔軟に対応できないことが懸念された。人事奉行V ERPはパッケージで提供されているため、開発コストの削減や検証作業などに手を煩わされないと考えたからだという。

また、これまでも約10のホテルで給与奉行21を導入しており、操作性には問題がないことや、今後、給与奉行V ERPで統一した場合に親和性があることから、人事管理システムは奉行V ERPが最良の選択だという判断があった。さらに、「全国のホテルからのアクセス環境を、インターネット回線を利用したCitrix Presentation Serverで実現しようとしていました。その導入実績の豊富さも、人事奉行V ERPを選定した理由の一つです」(システム推進部 國江航氏)と指摘する。

導入により、既存の人事管理から 人事戦略の実現へ

人事奉行V ERPを導入しての効果について総務部 中山敦司氏は、「まず第一に、本部および各ホテルの労務担当者の業務の効率化や正確なポイント管理が可能になりました」と述べる。今後、期待する大きな効果としては、人事情報、人事考課の一元管理によって、人事戦略の実現に寄与するであろうことだという。

「これまで社員は各ホテル採用であり、一部を除いてホテル間の人事異動はありませんでした。現在、広域社員制度を導入し、幹部候補社員あるいはスペシャリストを育成して人材の広域な適正配置をめざしています。そうした人事戦略を推進する上で、人事奉行V ERPによる人事情報の一元管理は欠かせないものとなります」(中村氏)は強調する。また、同社は人材開発部を立ち上げて社員教育を充実させているが、研修の受講履歴の管理や取得資格情報をはじめ、どのような社員がいるかを詳細に把握できるようになり、今後の人事戦略においても有効に活用できると考えている。

人事管理システムの統一に続いて、今後給与システムや勤怠管理システムの統一化を進めていく必要があるが、人事奉行V ERPはその基盤として重要な位置付けになると期待している。



株式会社近鉄ホテルシステムズ
システム推進部
國江 航 氏

「Citrix Presentation Serverを使ったアクセス環境構築の実績、これまでのお付合いの中で蓄積されたOBCのSIerとしての信頼性を高く評価しています」



株式会社近鉄ホテルシステムズ
総務部
中山 敦司 氏

「従来の退職金ポイント管理は各ホテル労務担当者の負担になっていましたが、退職金管理オプションによって管理の効率性、正確性が飛躍的に高まりました」

